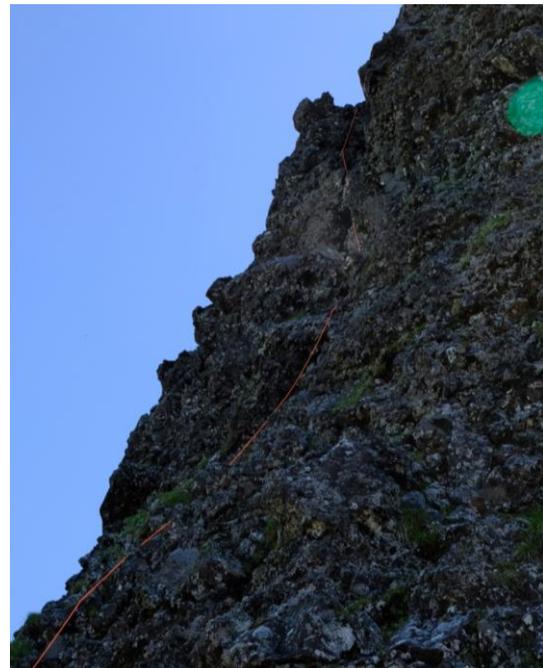


2023年6月17日(土) 小同心クラック メンバー：L 谷内 石原 野中 結城 岩田(記録)

5年前の夏、横岳の山頂にて、登ってくるクライマーを見て憧れた小同心。遂にその壁を攻略することが出来た。初めてクライミングシューズでのマルチピッチということで、ウォーキングシューズで歩き始める。八ヶ岳にローカットのシューズで登るのも初めてだ。妙に足元が軽くどンドン歩ける。赤岳鉱泉で少し休憩し、大同心稜を直登する。樹林帯を抜けた大同心基部下でヘルメットを装着。小同心取り付けにはすでに人影がある。(写真1) 大同心基部から小同心取り付けまで斜面をトラバース。小同心取り付けでは先行パーティーが3組。1組が登攀中。2組が登攀準備。そして我々が5名2組。そのあとに3名のパーティーで計6組。さすがに人気のゲレンデだ。ポカポカ陽気で気持ちの良い待ち時間。腹ごしらえをしてハーネス、クライミングシューズを装着し準備する。待ち時間に、先行パーティの登攀を観察し、登り方、ビレイの方法、コール等頭の中に叩き込んだ。(つもり) (写真2)

写真1 小同心の取り付けに先行者有り

写真2 1ピッチ目をじっくり観察



さあ登攀開始。谷内さんがリードで登り、ビレイするが早速ミス。革の手袋をはめてなかった。野中君教えてくれてありがとう！ 支点構築の後、合図を受けて登攀開始。登りは特に困難ではなかったけれど、一気に1ピッチ登ると息が切れた。そして登りきるとセルフを取って、ロープを整える。やることがいっぱいあって周りを見ている余裕は無し。

2ピッチ目もリードをビレイする。リードが登り切り、ロープも最後まで引き上げられたが、コールが聞こえない。ロープの動きを見てビレイの準備が出来ていると判断し、登攀開始。後で確認したところ、笛をピーピー吹いていたそうだが全く聞こえなかった。ロープを介した呼吸が大事なことがよく分かった。ここでまたまた重大なミス。途中支点でヌンチャクを外した記憶が全くない。登りに必死でロープからヌンチャクを外したはずだが全く覚えていない。ヌンチャクはそのまま支点に残っており、後続の石原さんが回収してくれた。(ありがとう...) 落ち着いて登らねば。

3ピッチ目は登りはじめが少しハングっているが登攀自体は問題なし。3ピッチ目も登り切った。(写真3) (写真4) ロープを束ねてコンテで稜線をあらく。横岳山頂に登山者が見える。今まで上から見てたところにいるんだなあ。途中ツクモグサが咲いている。なんだか貴重な花を独占した気分。(写真5)

最後の岩場をロープで確保してもらいながら登り、横岳山頂へ。パーティメンバーと握手。遂に小同心を登り切った！！サポートしてくれたパーティの皆さん、ありがとう！！

写真3 初マルチピッチで必死



写真4 余裕な人たち



写真5 岩壁のツクモグサ



【コースタイム】

- 05:40 スタート地点
- 07:30 赤岳鉱泉
- 08:50 小同心取り付き
- 10:00 登攀開始
- 12:00 横岳山頂
- 12:50 地蔵の頭
- 13:30 行者小屋
- 15:00 帰着